

高砂みなとまちづくり行動計画とは

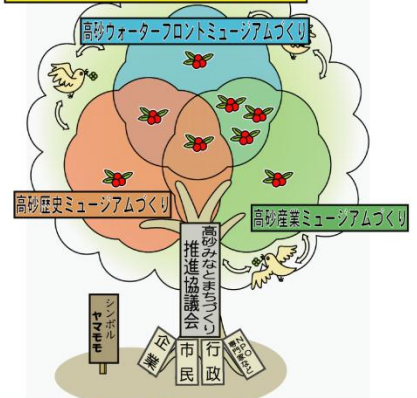
高砂みなとまちづくり構想を具体化するため、市民、企業、関係団体、専門家、行政などが一体となって取り組むためのプログラムとして、高砂みなとまちづくり構想推進協議会からの提言として取りまとめられました。

※ 高砂みなとまちづくり行動計画は、高砂みなとまちづくり構想推進協議会のホームページからダウンロード (PDF ファイル) できます。

高砂みなとまちづくり **検索**

入力して「検索」をクリック！

～輝く高砂みなとまちミュージアム～



ヤマモモは潮風に強い常緑の高木で、生命力みなぎるその様と真っ赤な果実は高砂市の活力向上のイメージにつながるので、高砂みなとまちづくり構想のシンボルとして位置付けました。



高砂市のシンボル劇と焼

第6号 平成25年3月

みなとまちづくり瓦版

<http://www.geocities.jp/takasago3710machikyoo/index.html>

「3710」は「みなと」と読めるね！

みなとまちづくり瓦版ってなあに？

高砂市の臨海部がもっと元気になるために、住民と企業と行政が一緒になって「高砂みなとまちづくり構想」をつくり、様々な取り組みを行っています。

「みなとまちづくり瓦版」は、これらの高砂みなとまちづくり構想の取り組み状況をお知らせするとともに、高砂市臨海部の魅力をもっと知ってもらいたいと「高砂みなとまちづくり構想推進協議会」の有志が集まって作成したものです。

平成20年1月に創刊号を発行し、この度、第6号が完成しました。

是非ともご愛読いただき、高砂市臨海部の魅力を再発見し、一緒に「まちづくり」について考えていきましょう。

さまざまな取り組みが行われています。ご協力ください！

高砂市では、兵庫県の協力を得て、高砂みなとまちづくり推進協議会歴史ミュージアム部会での検討結果をもとに、歴史案内板 (石柱) を設置することとしています。平成24年度には、11基を設置しました。同様の案内板 (石柱) は、既に6基設置されています。

また、高砂町町名由来板 (29町) についても、平成24年度に修繕しました。

高砂町散策の際にこれらをご覧ください、かつての賑わいを想像してください。



商工会議所 (商工会議所設置)



美濃部達吉生家跡 (市まちづくり部設置)



国鉄高砂駅跡 (市まちづくり部設置)



申義堂跡 (市教育部設置)



北堀川界隈 (市まちづくり部設置)



申義堂 (市教育部設置)



町名由来看板 (西宮町)



町名由来看板 (戒町)



町名由来看板には町名の由来のほか、どれくらいの人が住んでいたのかなども記載されているんだよ！

